

事前に提出いただいたご意見・ご質問等に対する回答

議題2 「第4次・健康たかつき21」の取組状況について			
No.	資料番号 ページ番号	ご意見・ご質問等の内容	所管課からの回答
1	資料1 (1ページ) No.4	<p>事業名：高槻市国民健康保険特定健康診査</p> <p>市国保加入者の40～74歳対象の受診者数が出ていますが、対象者総数のうち受診者数が〇名という明記がないため、単に令和6年度から令和7年度に人数が増加していても、受診を必要とする意識向上とは判断しにくいのではないかと思います。</p>	<p>【所管課 健康づくり推進課】</p> <p>令和6年度の最終結果は、令和7年11月に確定予定ですが、令和7年7月28日時点では、対象者数は39,302人、受診者数14,814人、受診率37.7%となります。</p> <p>※対象者数は、年度を通して継続して国民健康保険に加入している40～74歳の人数</p> <p>※令和5年度同時期の対象者数は42,226人、受診者数15,767人、受診率37.3%</p> <p>令和7年度の対象者数は、年度途中での資格喪失で減少するため現時点で確定はできませんが、最近の傾向として団塊の世代が後期高齢者医療に移行することに伴い、対象者数は減少しています。</p>
2	資料1 (2ページ) No.7	<p>事業名：在宅障がい者健診</p> <p>在宅障がい者が健康診査を受診する機会の充実に努めるとありますが、どのような方法をとっていますか。</p> <p>また、集団健診と個別健診の人数をあげられているが、総対象者数が不明のため、周知が向上しているのか否かわかりにくいのではないかと思います。</p>	<p>【所管課 健康づくり推進課】</p> <p>障がい者の健診は、障がい者の状況に応じて、個別健診または集団健診のいずれかで受診していただけるよう機会の充実に取り組んでいます。採血や車いすでの体重測定など、医療機関（個別健診）での対応が困難な事例に対して、障がい者団体と協力し、保健センターにおいて体制を整備し、集団健診を実施しています。</p> <p>対象者については、在宅の一定の障がいのある方で、かつ他の制度による健康診査を受診する機会のない方を対象としているため、総対象者数を把握することはできません。</p>

議題2 「第4次・健康たかつき21」の取組状況について			
3	資料1 (5ページ) No.36	<p>事業名：こころの健康相談の充実</p> <p>保健所は精神疾患の相談窓口としての長い経験と実績を持っておられます。昨年度の4,275人の内容についてお訊ねします。</p> <p>年齢層、どのような相談か。(病気についてか。福祉・支援についてか。生活についてか。など)</p> <p>また、どのような経路で保健所につながったのか。(本人・家族、友人、相談支援事業所、病院など)</p>	<p>【所管課 保健予防課】</p> <p>相談者の年齢は、匿名相談を含むため全数把握できていませんが、把握している年齢では40～64歳が最も多く、次いで20～39歳となっています。</p> <p>相談内容は、精神疾患に関することが最も多く、受療支援、治療継続支援等を行っています。また、ただ自分の気持ちを聞いて欲しいという相談もあります。</p> <p>相談経路は、本人・家族からの相談が多いですが、医療機関、訪問看護ステーションや地域包括支援センター等の関係機関からの相談もあります。</p>
4	資料1 (12ページ) No.96	<p>事業名：スクールカウンセラーの派遣</p> <p>いじめを受けた生徒数や不登校の生徒数は増加傾向が続き、減少の傾向は認められません。スクールカウンセラーの人数、配置状況及び学校における対応状況についてお訊ねします。</p> <p>また、インクルーシブ教育の推進において重要な視点と考えますので、いじめや不登校の生徒を減少させるためのその他の対応策について教えてください。</p>	<p>【所管課 教育指導課】</p> <p>令和7年度スクールカウンセラーの人数は22名。配置状況は、小学校で年間12回(1日6時間)、中学校区年間35回(1日6時間)となります。学校における対応状況として、児童生徒・保護者に対する相談活動や、教職員へのコンサルテーション、ケース会議への参加等があります。</p> <p>いじめや不登校の対応として、学校は必要に応じてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家と連携するなど、組織的に対応しています。また、令和6年度から、全小中学校に校内教育支援センターを設置し、校内に安心できる居場所を作り、児童生徒に寄り添った不登校支援を行っております。</p>